

いきいきいきサロンかわら版

平成23年7月1日



世代間交流で地域伝承

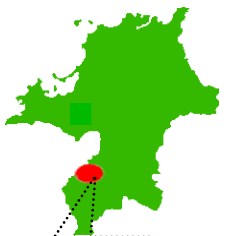


~もくじ~

- 大木町牟田地区サロン・・・・・・・・・・・・・・・・P2~P3
- 大木町「ふれあい」いきいきサロン連絡協議会・・・・P4

大木町

若い力で自慢の地域づくり



大木町

新たな視点でのサロン推進

大木町社協では行政と協働で平成21年度からふれあい・いきいきサロン事業を進めており、平成21年度に2カ所のサロンを立ち上げたのをはじめ、平成22年度には、本会のモデル指定を受けて、新たに4カ所のサロンを立ち上げて、現在町内6カ所で、地域の特性を生かした活動を展開しています。町内の「ボランティアサークル」「子育てサークル」「障害児・者のサークル」との交流や協働の企画など、新たな視点でサロン活動推進を行っています。

今回は牟田地区サロンと自治会の子ども会との協働によるちまき作りを取材しました。

大木町社会福祉協議会は平成22年度から2カ年、本会の共助社会づくりに向けた小地域福祉活動推進のためのモデル指定を受けて、サロン活動を基盤とした小地域福祉活動の推進を行っています。



地域行事 若い世代へのバトン

6月初旬の土曜日、大木町の牟田地区公民館には賑やかな話し声と元気な笑い声が響いていました。この日のサロンでは、地域の子ども会と一緒にちまき作りを行いました。

細かな作業を慣れた手つきでこなすサロンの参加者と作り方を教わりながらぎこちない手つきの子どもたちと若いお父さん・お母さんたち。「手が切れそうで怖い」「こげんやっつて包むとたい」「結び方が分からん」「不器用やねえ」「なんとか出来た！」大騒ぎしながらも、公民館いっぱいに積み上げられた葦(よし)と菰(こも)と団子が、見る見るうちに美味しそうなちまきに変わっていきます。さっそく茹でて試食したちまきは懐かしい味がしました。「自分たちで作ったけん美味しい」と言う子どもたちは2個・3個ペロリと平らげていました。



ちまき作りを指導した井上すえ子さん



醤油をつけて美味しく食べます

ちまきはこう作るっ!!

団子粉をこね、くちなしの実(乾燥させてつぶしたもの)で、団子を黄色にします。

それから葦の葉で団子を包み、菰の葉でさらに包みます。い草で巻いて留め、お湯で15分茹で、水を切ったら完成!

菰で巻くことで菰の風味が団子に染み込み「昔ながらのちまき」が出来上がります。

甘醤油や大根おろし、きな粉をつけて食べます。



本会職員も手ほどきを受けました。

サロンの立ち上げ経緯について

牟田地区サロンは、平成22年7月に立ちあげられたばかりのまだまだ若いサロンです。

立ち上げに向け、まず6月に準備説明会を行いました。説明会には、世話人となる区長や民生委員・老人クラブ・公民館長をはじめ、

町職員と町社協職員、県社協が参加しました。説明会では、「サロンとはどういうものか」から始まり「何をしたいか」「どんなサロンにしたいか」「呼びかけ方はどのようなにするか」など色んな意見や質問が出ました。これらを受け、牟田地区らしいサロンを作っていくことで話が進み、7月7日に第1回目を迎えることとなりました。



サロン立ち上げ前の説明および打ち合わせ

皆でおしゃべり楽しくひまわり

第1回目のサロンでは、総勢38名の参加がありました。本会が養成したふくおか健康隊の修了者である世話人代表の山口博さんの中

心に、レクリエーションやピンシヤン体操、お茶を飲みながらの季節にちなんだ七夕飾りづくりなど、和やかな雰囲気のリクリエーションがはじまりました。

最初は世話人も参加者も肩に力が入っているようでしたが、徐々に笑顔が見られ、参加者からは「こうやって大勢でおしゃべりすることがなかなか、今日は楽しかあ」という声が聞かれています。



最後は皆でピンシヤン体操！！
レクリエーションで場が和みます。

このような流れを受けて、立ち上げから1年経ったこの日のサロンでは、3世代共同で昔ながらのちまき作りを行い、「牟田地区らしいサロン」が着実に実を結んでいました。

大木町「ふれあい」いきいきサロン連絡協議会

大木町社会福祉協議会では、昨年度から本会のモデル指定事業を受けて、誰もが健康でいきいきと安心して暮らし、共に支えあう地域づくりの手法として、「ふれあい・いきいきサロン」の推進・強化を行政と共に取り組んでいます。

町社協では、6箇所のサロンの世話人から3名ずつ委員として選出し、大木町「ふれあい」いきいきサロン連絡協議会を立ち上げました。設立の目的は、町社協からの各サロンへの情報提供や各サロン間の情報交換や交流、視察先の検討など、大木町の地域づくり、サロン活動を考える協議、協働の場となっています。

「サロン活動は、地域で暮らす高齢者の方にとっても効果のある取り組みであると考えています。また、サロン活動がマンネリ化しないように、社協として地域で活動しやすい環境づくりのため、素早く情報提供できるように、ふれあい・いきいきサロン連絡協議会を立ち上げました。会はサロン間同士で情報交換することで、地域活動を続けていこうというモチベーションにつながり、お互いにとっていい刺激になっています。今後も町内の団体などと連携を取りながら、大木町らしい温かい活動を広げていきたいです。」と担当者は話します。



町社協が持っているレクリエーション用具の取り扱い説明を連絡協議会で行い、サロンに貸し出しています。

【発行・問合せ先】

福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 地域課

〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階

TEL 092-584-3377 FAX 092-584-3369

URL <http://www.fsw.or.jp/>